

# Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストウラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。  
広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。



表紙モデル / 専攻科 音楽専攻・音楽科の学生 (P01-02 第59回定期演奏会に向けて)

Vol. 72  
2023.AUTUMN

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2023年9月8日発行 通巻72号  
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL 0975450542 代表 FAX 0975450543

特集 ● 音楽科定期演奏会に向けて



Epistula  
OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE  
Public Relations Magazine

## EVENT CALENDAR

2023 9 Sep >>> 12 Dec イベントカレンダー

9月 September	17日(日)	一文人形絵付け体験ワークショップ
	19日(火)	後期授業開始
	23日(土・祝)	芸短音楽科コンサートシリーズ No.119 若さあふれるコンサート
10月 October	9日(月・祝)	第59回定期演奏会福岡特別公演
	21日(土)・22日(日)	芸短祭
11月 November	3日(金)・4日(土)	健やかな子どもを育てるための公園ワークショップ
	4日(土)	ドニゼッティ作曲 歌劇《愛の妙薬》(大分二期会)
	6日(月)~12日(日)	アートマネジメントプログラム「融合!マッチ? fashion 展(仮)」
	8日(水)	音楽科コンサートシリーズ No.120「ピアノコース演奏会~ピアノ音楽への誘い~」
	11日(土)・12日(日)	アートマネジメントプログラム「芸短ワークショップ&コンサートフェスティバル」
	29日(水)	別府市に関する地域包括ゲームの開発と公開 大分国際車いすマラソン第13回交流イベント
12月 December	6日(水)	音楽科コンサートシリーズ No.121 管弦打コース演奏会 ~師走に心温まるひとときを~
	9日(土)	「多文化理解論」特別公開イベント『第3回ミニアメリカ映画祭』
	23日(土)	冬期休業開始 オペラサークル Opera Piena di Vita 第33回公演 オペラガラコンサート

※各イベントは変更になる場合があります



芸文短大 検索

<https://www.oita-pjc.ac.jp>

大分県立芸術文化短期大学の公式 SNS では、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、学科や研究室のほか、サークル、イベント等でも SNSを立ち上げています。

○大分県立芸術文化短期大学



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube

○美術科



Facebook



Instagram



Twitter

○国際総合学科



Facebook



Instagram



Twitter

○音楽科



Facebook



Instagram



Twitter

○情報コミュニケーション学科



Facebook



Instagram



Twitter



# 特集

音楽科最大のイベント

## 第59回定期演奏会に向けて



**C・サン・サーンス作曲 歌劇「サムソンとデリラ」より バツカナル**

この曲は、サムソンとデリラの第3幕に使われている曲で、ローマ神話に出てくる酒の神「バツカス」を称える酒宴の踊りです。アラビア風の旋律で、とてもリズムミカルな音楽になっています。

**この曲の好きなところ、おすすめどころは？**

なんと言っても、冒頭のオーボエソロが魅力的です。オーボエ奏者にとって、とても緊張するソロですが、アラビア風のサウンドをみなさんにお届けできると思います。また、学生の若さ溢れる勢いのある演奏で、皆さんをバツカナルの世界に引き込みます!!!

(専攻科音楽専攻2年オーボエ横野)

**F・プーランク作曲 「グローリア」 FP.177**

**この曲はどんな曲ですか？**

「グローリア」は、1959年にフランツ・プーランクによって作曲された宗教曲です。他の宗教曲に比べ曲調が軽快で、典型的ではなくユーモアのある曲です。

(専攻科音楽専攻2年声楽二見)

**この曲の好きなところ、おすすめどころは？**

この曲の好きなところは、軽快な曲とゆったりした曲との対比がはっきりしているところ。軽快な曲にはソロがないので、それぞれのパートの良さがより際立ち、ソロがある3曲は、4パートのハーモニーが美しく、天に召されるような感覚になります。おすすめポイントは、6曲目の終盤にあるソロです。このソロの瞬間にはオーケストラも合唱も音がなくなり、静寂な中ソロだけがホールを包み込むように響き渡ります。

(専攻科音楽専攻2年声楽塚元)

**F・プーランク作曲 バレエ組曲「牝鹿」FP.36**

**この曲はどんな曲ですか？**

1923年に合唱含む全9曲のバレエ音楽として作曲されました。今回演奏する組曲版は1939年に演奏会用組曲として作曲家自身が5曲に抜粋、編曲したものです。「牝鹿」は若い娘たち、可愛い子を意味します。

(専攻科音楽専攻2年フルート津田)

**この曲の好きなところ、おすすめどころは？**

組曲版は全5曲からなり、軽快さと優美さを併せ持つプーランクらしい華やかな音楽が特徴的です。特に、清らかな音楽と勇ましい音楽が次々に入れ替わり登場する第4曲がお気に入りです。

(専攻科音楽専攻2年フルート津田)

**P.I. チャイコフスキー作曲 交響曲第4番へ短調 Op.36**

**この曲はどんな曲ですか？**

この曲はチャイコフスキーの4番目の交響曲として1878年に作曲されました。チャイコフスキーが心身に不安定の中作曲され、情熱的で美しい旋律が特徴です。

(専攻科音楽専攻2年クラリネット平川)

**この曲の好きなところ、おすすめどころは？**

4楽章構成ですが、その中でも特に2楽章冒頭のオーボエソロは美しく美しい旋律を奏でます。楽章ごとの表情にも注目して、美しいソロやアンサンブルをお楽しみください！

(専攻科音楽専攻2年クラリネット平川)

**◆あなたが担当している楽器やコース等の魅力を教えてください。**

管弦打コースの魅力は、自分の専攻する楽器と向き合うこともですが、様々な楽器とのアンサンブルや合奏をできることです。オーケストラや吹奏楽の授業、本番を経験して沢山のことを学ぶ事ができます。また、芸文短大は少人数ということもあり先生方が一人一人に向き合って指導していただけることも魅力的です。今回はこれまでの成果、そして芸文短大の魅力を感じられる演奏会にしたいと思います！

(専攻科音楽専攻2年打楽器高橋)

声楽コースの魅力は個性豊かで実力の高い仲間と切磋琢磨しながら自身のスキルを高めることが出来ることです。声楽コースの生徒一人一人に個性があり、演奏会や試験で演奏を聞き合うことで、お互いの成長を感じ刺激を貰うことができます。そして、先生方にレベルの高いレッスンをして頂き、様々な演奏会で活躍される先生方の演奏を聞き、学びを深めることで、自身を成長させる部分も魅力の一つです。

(短大2年声楽コース辻)

**◆定期演奏会に向けた意気込みや本番に向けて思うことをお願いします！**

今回は初めての福岡公演ということもあり緊張していますが、演奏会を成功させるため学生全員で励んでおります。いつも熱心にご指導してください。先生方、支えてくださる保護者や大学関係者の方々に日頃の感謝の気持ちを伝えられるような演奏にしたいと思っております。皆さんに足を運んでいただけて今の芸文短大生の頑張りをぜひ見て頂きたいです。

(専攻科音楽専攻2年フルート上ノ瀬・ヴァイオラ白川・トロンボーン有村)

### 芸短フェスタ2023

# 第59回定期演奏会 福岡特別演奏会

<b>出 演</b>	指揮：森口真司 演奏：大分県立芸術文化短期大学管弦楽団・合唱団
<b>演 奏 曲 目</b>	C. サン・サーンス作曲 歌劇「サムソンとデリラ」よりバツカナル F. プーランク作曲 「グローリア」FP.177 F. プーランク作曲 バレエ組曲「牝鹿」FP.36 P.I. チャイコフスキー作曲 交響曲第4番へ短調 Op.36
<b>日 時</b>	2023年10月9日(日) 【開場】14:15 【開演】15:00
<b>場 所</b>	アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
<b>料 金</b>	入場料 1,000円 【全席自由】
<b>チケット発売場所</b>	本学音楽科・福岡市内楽器店 ほか
<b>問 い 合 せ</b>	大分県立芸術文化短期大学 音楽科(副手室) 097-545-8758

2023.10.9(日) アクロス福岡 福岡シンフォニーホール  
開場 14:15 開演 15:00 入場料 ¥1,000

PROGRAM  
C.サン・サーンス 歌劇「サムソンとデリラ」より バツカナル  
F.プーランク 「グローリア」FP.177  
F.プーランク バレエ組曲「牝鹿」FP.36  
P.I.チャイコフスキー 交響曲第4番へ短調 Op.36

大分県立芸術文化短期大学 音楽科(副手室)  
TEL.097-545-8758  
music@oita-pjc.ac.jp  
https://www.oita-pjc.ac.jp

チケット248-091 発行コード:2326165

問 合 せ 直 接  
大分県立芸術文化短期大学音楽科 企画課  
TEL.097-545-8758





## 04 夏韓国語短期研修奨学生選抜試験に、国際総合学科の学生が合格しました

2023夏韓国語短期研修奨学生選抜試験に、国際総合学科2年の井上寧々さんが合格しました。  
本奨学生プログラムは、韓国政府機関である国立国際教育院の「2023韓日共同高等教育留學生交流事業・学部短期課程」として、日本全国で20名(学部生)を選抜するもので、8月の3週間を通して、韓国で「韓・日文化コンテンツ専門家養成コース」が受けられます。「授業料・航空券・宿泊費・食費」のすべて無料。韓国政府が奨学金としてすべてを支援。  
井上さんは「留学中はネイティブの友達を作り、たくさん交流したい。自分の意見をしっかりと伝えられるよう研鑽したい」と話しています。

## 05 「時事ニュース研究」で日本テレビの気象予報士 藤森涼子さんによる出前授業を行いました

6月9日(金)「時事ニュース研究」の授業で、日本テレビの気象キャスターとして活躍されている、気象予報士の藤森涼子氏を講師にお招きし「気象情報からみた時代の変遷」をテーマにお話を伺いました。  
授業では、天気予報ができるまでの過程や、ひまわりなどの衛星などをはじめ、様々な機器の進歩によって、天気予報の精度が上がっている現状などについてお話を伺いました。  
また、実際に天気予報が放送されるまでの過程の中でCGスタッフさんに発注する様子や、フロアディレクターとしての業務、スタジオが自動化されている現状などについて、写真を用いて説明いただいたほか、気象予報士を取り巻く環境や現在求められるものなど、生の声を聞くことができました。



## 01 附属図書館で「選書ツアー」の意見交換会が行われました



6月28日(水)、附属図書館にて、6月17日(土)に開催した「選書ツアー」参加学生5名と教職員5名による意見交換会を行いました。意見交換会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり4年ぶりの開催となります。  
学生が、自分の好きなジャンルについてはもちろん、本の選定理由やツアーで感じ取ったことなどをしっかりと言語化・表現し、発表しました。清水万敬附属図書館長は「様々な分野の本を選んでいただきありがとうございます。今後このような機会があれば今回選んだ本の面白さを他の学生にも広めていただきたいです」と学生に呼びかけました。  
発表後おすすめの本を語り合い、選書ツアーでの絆も深まる会となりました。

## 03 音楽科 管弦打コースによる「サマーコンサート」を開催しました



7月11日(火)、本学音楽ホールにて「サマーコンサート」を開催しました。  
音楽科管弦打コースの学生が出演し、清水万敬教授、高田喜夫准教授の指揮のもと、管打楽器アンサンブル2曲と2023年度吹奏楽コンクール課題曲4曲を披露しました。  
当日は平日にも関わらず在学生や地域の方々等、多くの来場者が演奏を楽しみました。  
ご来場いただきましたみなさま、ありがとうございます。  
音楽科では、9月23日(土)、本学音楽ホールにて「若さあふれるコンサート」を開催予定です。

## 02 「交差展 ~ Product design exhibition16 ~」を開催しました



8月7日から8月13日までの7日間、プロダクトデザインコース学生による「交差点 Product design exhibition16」を開催し、専攻科1、2年、美術科デザイン専攻2年生13名の作品を展示しました。  
様々な視点からモノの形にアプローチしながら制作したドライヤーやイスなど展示しました。学生が互いの作品を講評することで研鑽したい、デザイン実務に近い形で仕上げています。  
夏休み期間中ということもあり、会場には老若男女問わず多くの方々にお越しいただきました。

## 竹田キャンパス通信

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です

ここ竹田キャンパスには学生、卒業生が制作、合宿等で集まってきました。皆が帰った後は 大概様々な場所に放置された歯ブラシを見つめます。歯磨き粉も置かれていることがあり、先日よく見ると(よく見なくてもわかりますが)歯磨き粉と一緒にボンドも並んでいました。間違えて使う人はいないと思いますが、何だかシュールで面白い配置だなと思った今日この頃です。



▲歯磨き粉と一緒に並ぶボンド

非常勤講師 大学OB 前田亮二



# 学内ギャラリー作品介绍

「ごあいさつ」<6月6日~6月17日>  
美術科 美術専攻 1年



「MOSTRA D'ARTE DI DUE UOMINI」  
<6月20日~6月30日>  
専攻科 造形専攻 2年  
竹原佳汰朗・佐野元紀



「えくぼ」  
<7月11日~7月15日>  
美術科 美術専攻 2年  
姫野楓果



## 学長コラム

### 「生きる喜び」

私は世界銀行であるチェコ人と親友になりました。彼は留学中に亡命したため故国に帰ることができず、父親の死目にも会えませんでした。私の帰国後にベルリンの壁の崩壊などの事件が起こりました。その頃、彼と東京で会い次のような話を聞きました。

ベルリンの壁の崩壊を見て「そろそろ故国に帰ることもできるのでは？」とワシントンのチェコスロヴァキア大使館に行ったのですが、大使館はビザを出す用意はある一方、彼のパスポートではなく紙切れにビザを捺印するというので、紙切れをなくした途端逮捕されてしまう、と一旦諦めたそうです。ところがその晩テレビで、チェコの新政府の外相が「亡命者に対し嫌がらせをしている大使館があれば、大使をすぐに首にする」と答えていました。すると翌朝7時にチェコ大使館から電話があり、「君のパスポートにビザを印刷するのですぐに持ってきてくれ」と言われ、20年ぶりにチェコに帰ることになりました。プラハの南400キロにある故郷に着いたのは夜でした。前もって母には連絡しておいたのですが、自宅に着くと家は真っ暗です。怪訝に思いながらドアを押すとドアが開き、電気がついて、村人全員が、「お帰り！」と歓声を上げてくれました。



似顔絵：学長秘書首藤尚子

## SERVICE LEARNING REPORT

# サービスマーケティング情報



## ポルトソール通りの地上機器 4台のデザインが完成しました

サービスマーケティングでは2020年度より大分市内町にある「ポルトソール通り(府内11号線)のデザイン・プロジェクト」に取り組み、このプロジェクトの一環として、情報コミュニケーション学科の学生が、同通りのトキハ会館横と大分センターリーホテル前にある地上機器の外観をデザインし、4基が公開されました。

学生たちは実際に現場を訪問して地上機器のある場所を確認し、この地域の歴史を学びながら、コンセプトについて議論を重ね、デザインを制作しました。ポルトソール通り全体の完成は、今年度末を予定しており、残りの地上機器もデザインを施す活動を進めていきます。



## 布市でアスパラガス収穫・情報発信活動を行いました

6月24日(土)にサービスマーケティングの一環として、「アスパラガス収穫・情報発信活動とゆふいんの散策」を行いました。活動ではまず、ゆふいん市街の近くでアスパラガス生産を行う衛藤将明氏(Genie's Farm 代表)のほ場で、収穫を支援しました。その後、出荷先のひとつである「レストランの風」で、ゆふいんの歴史や農業

生産者との連携(地産地消の取り組み)についてお話をうかがいました。また、大分県内有数の観光地である「湯の坪街道」などを散策し、地域経済の循環や農業と観光の連携方策について考察しました。



## 学友会



10月21日(土)、22日(日)に芸短祭を行います! お笑い芸人さんによるお笑いステージやサークルのステージ発表の他に、屋台や雑貨などの出店を企画しています。学友会のTwitterやInstagramをチェックしてください。皆様のご参加をお待ちしております。今年も芸短祭と一緒に盛り上げていきましょう!



## 日々是精進

### 音楽科

◆第21回ヴェルデ音楽コンクール大分地区予選

金賞

井之上 明花  
(1年生 ピアノコース)

◆第16回 音の夢  
ピアノコンクール 熊本地区

最優秀賞

松本 明衣  
(1年生 ピアノコース)